

令和3年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書  
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

## 各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象 .....	1
第2 審査の期日 .....	1
第3 審査の方法 .....	1
第4 審査の結果 .....	1
1 決算の総括 .....	2
(1) 決算規模 .....	2
(2) 決算収支 .....	3
2 一般会計 .....	4
(1) 歳入 .....	5
(2) 歳出 .....	6
3 後期高齢者医療特別会計 .....	8
(1) 歳入 .....	9
(2) 歳出 .....	14
4 財産に関する調書 .....	17
5 むすび .....	18

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。  
このため計数が一致しない場合がある。

## 令和3年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

令和3年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

令和3年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
(決算附属書類)

令和3年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

令和3年度各会計実質収支に関する調書

令和3年度財産に関する調書

### 第2 審査の期日

令和4年7月5日

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、令和3年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算執行では、歳入の一部に収入未済や不納欠損となっているものがあつたが、適正に執行されていると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

# 1 決算の総括

## (1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,874億1,023万261円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	7,752万58円	(同)	100.00%)
特別会計	2,873億3,271万203円	(同)	100.00%)
歳出	2,873億9,343万3,663円	(予算現額に対する執行率	99.99%)
一般会計	7,399万8,162円	(同)	95.46%)
特別会計	2,873億1,943万5,501円	(同)	100.00%)
歳入歳出差引額	1,679万6,598円		
一般会計	352万1,896円		
特別会計	1,327万4,702円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
R元	282,182,455,691円	6,542,068,451円	282,171,622,338円	6,559,323,152円
R2	279,738,727,550円	△2,443,728,141円	279,675,743,833円	△2,495,878,505円
R3	287,410,230,261円	7,671,502,711円	287,393,433,663円	7,717,689,830円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 1,679 万 6,598 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

決算収支の推移

区 分		令和3年度 円	令和2年度 円	令和元年度 円
歳入総額 A	一般会計	77,520,058	72,225,235	75,032,642
	特別会計	287,332,710,203	279,666,502,315	282,107,423,049
	計	287,410,230,261	279,738,727,550	282,182,455,691
歳出総額 B	一般会計	73,998,162	69,021,228	74,419,516
	特別会計	287,319,435,501	279,606,722,605	282,097,202,822
	計	287,393,433,663	279,675,743,833	282,171,622,338
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	3,521,896	3,204,007	613,126
	特別会計	13,274,702	59,779,710	10,220,227
	計	16,796,598	62,983,717	10,833,353
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	3,521,896	3,204,007	613,126
	特別会計	13,274,702	59,779,710	10,220,227
	計	16,796,598	62,983,717	10,833,353
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	317,889	2,590,881	594,553
	特別会計	△46,505,008	49,559,483	△17,849,254
	計	△46,187,119	52,150,364	△17,254,701

## 2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 7,752 万 58 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 7,399 万 8,162 円（予算現額に対する執行率 95.46%）、歳入歳出差引額 352 万 1,896 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
R2	72,225,235円	Δ2,807,407円	69,021,228円	Δ5,398,288円
R3	77,520,058円	5,294,823円	73,998,162円	4,976,934円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 352 万 1,896 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

### 一般会計決算収支の推移

区 分	令和3年度	令和2年度
歳入総額 A	77,520,058円	72,225,235円
歳出総額 B	73,998,162円	69,021,228円
歳入歳出差引額 (A-B) C	3,521,896円	3,204,007円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	3,521,896円	3,204,007円
単年度収支 E-前年度のE	317,889円	2,590,881円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 歳 入 決 算 状 況

区 分		令和3年度 A	令和2年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		77,519,000円	72,225,000円	5,294,000円
調 定 額		77,520,058円	72,225,235円	5,294,823円
収 入 済 額	金 額	77,520,058円	72,225,235円	5,294,823円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.00%	0円
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0円
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

収入済額は7,752万58円で、前年度に比べ529万4,823円増加している。

予算現額7,751万9,000円に対する収入歩合は100.00%で、前年度と同率になっている。

調定額に対する収納率は100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和3年度					令和2年度	増、減(△) C-D
	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入歩合 C/A	収入未済額 B-C	収入済額 D	
	円		円	%	円	円	円
分担金及び負担金	74,300,000	74,300,000	74,300,000	100.00	0	71,600,000	2,700,000
財 産 収 入	4,000	3,617	3,617	90.43	0	3,427	190
繰 越 金	3,204,000	3,204,007	3,204,007	100.00	0	613,126	2,590,881
諸 収 入	8,000	12,434	12,434	155.43	0	8,682	3,752
繰 入 金	3,000	0	0		0	0	0
合 計	77,519,000	77,520,058	77,520,058	100.00	0	72,225,235	5,294,823

収入済額は7,752万58円で、この主なものは分担金及び負担金である。

なお、前年度と比較した主な増減要因については、市町村からの事務費負担金である分担金及び負担金270万円の増額、前年度繰越金259万円の増額によるものである。

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		令和3年度 A	令和2年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		77,519,000円	72,225,000円	5,294,000円
支 出 済 額		73,998,162円	69,021,228円	4,976,934円
執 行 率		95.46%	95.56%	△0.1%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		3,520,838円	3,203,772円	317,066円

支出済額は7,399万8,162円で、前年度に比べ497万6,934円増加している。予算現額7,751万9,000円に対し、95.46%の執行率となっている。

翌年度繰越額は0円である。

また、不用額は352万838円で、前年度に比べ31万7,066円の増加となっている。

不用額の主なものは、総務費の職員手当等、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款・項	令和3年度					令和2年度	増、減(△) A-B 円
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円	支出済額 B 円	
議会費	1,048,000	805,214	76.83	0	242,786	770,263	34,951
総務費	75,971,000	73,192,948	96.34	0	2,778,052	68,250,965	4,941,983
総務管理費	75,699,000	72,971,754	96.4	0	2,727,246	68,071,017	4,900,737
選挙費	181,000	150,190	82.98	0	30,810	116,340	33,850
監査委員費	91,000	71,004	78.03	0	19,996	63,608	7,396
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0	0
計	77,519,000	73,998,162	95.46	0	3,520,838	69,021,228	4,976,934

議会費の支出済額は80万5,214円で、前年度に比べ3万4,951円増加している。予算現額104万8,000円に対し、76.83%の執行率となっている。

総務費支出済額は7,319万2,948円で、前年度に比べ494万1,983円増加している。予算現額7,597万1,000円に対し、96.34%の執行率となっている。

なお、前年度と比較した主な増減要因としては、総務費のうち総務管理費において、前年度繰越金の増加に伴い、財政調整基金への積立金が増加したことなどによるものである。

### 3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,873 億 3,271 万 203 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,873 億 1,943 万 5,501 円（予算現額に対する執行率 100.00%）、歳入歳出差引額 1,327 万 4,702 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
R2	279,666,502,315円	△2,440,920,734円	279,606,722,605円	△2,490,480,217円
R3	287,332,710,203円	7,666,207,888円	287,319,435,501円	7,712,712,896円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 1,327 万 4,702 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	令和3年度	令和2年度
歳入総額 A	287,332,710,203円	279,666,502,315円
歳出総額 B	287,319,435,501円	279,606,722,605円
歳入歳出差引額 (A-B) C	13,274,702円	59,779,710円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	13,274,702円	59,779,710円
単年度収支 E-前年度のE	△46,505,008円	49,559,483円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分		令和3年度 A	令和2年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		287,333,124,000円	279,664,555,000円	7,668,569,000円
調 定 額		287,340,181,717円	279,679,718,277円	7,660,463,440円
収 入 済 額	金 額	287,332,710,203円	279,666,502,315円	7,666,207,888円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.00%	0.00%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		6,062,422円	12,129,542円	△6,067,120円
不 納 欠 損 額		1,409,092円	1,086,420円	322,672円

収入済額は2,873億3,271万203円で、前年度に比べ76億6,620万7,888円増加している。

予算現額2,873億3,312万4,000円に対する収入歩合は100.00%で、前年度と同率である。調定額に対する収納率は100.00%となっており、収入未済額は、前年度に比べ606万7,120円減少している。なお、不納欠損額140万9,092円で、前年度に比べ32万2,672円増加している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和3年度						令和2年度	増、減(△)
	予算現額 A 円	調定額 B 円	収入済額 C 円	収入歩合 C/A %	不納欠損額 D 円	収入未済額 B-C-D 円	収入済額 E 円	C-E 円
市町村支出金	49,551,580,000	49,550,814,693	49,550,814,693	100.00	0	0	48,678,388,644	872,426,049
うち保険料等負担金	26,306,498,000	26,305,733,442	26,305,733,442	100.00	0	0	25,987,959,349	317,774,093
うち療養給付費負担金	22,495,082,000	22,495,081,251	22,495,081,251	100.00	0	0	21,990,429,295	504,651,956
国庫支出金	93,091,341,000	93,091,341,922	93,091,341,922	100.00	0	0	95,128,943,554	△2,037,601,632
うち療養給付費等負担金	67,672,619,000	67,672,619,584	67,672,619,584	100.00	0	0	68,923,075,094	△1,250,455,510
うち高額医療費負担金	1,497,640,000	1,497,640,173	1,497,640,173	100.00	0	0	1,389,474,995	108,165,178
県支出金	23,284,843,000	23,284,844,140	23,284,844,140	100.00	0	0	22,641,605,895	643,238,245
うち療養給付費等負担金	21,754,250,000	21,754,250,967	21,754,250,967	100.00	0	0	21,213,847,574	540,403,393
うち高額医療費負担金	1,497,640,000	1,497,640,173	1,497,640,173	100.00	0	0	1,389,269,321	108,370,852
支払基金交付金	109,679,861,000	109,679,861,000	109,679,861,000	100.00	0	0	107,268,002,000	2,411,859,000
特別高額医療費共同事業交付金	150,041,000	150,041,993	150,041,993	100.00	0	0	110,656,866	39,385,127
財産収入	5,104,000	5,103,988	5,103,988	100.00	0	0	3,157,194	1,946,794
繰入金	11,125,771,000	11,125,769,798	11,125,769,798	100.00	0	0	5,297,816,351	5,827,953,447
繰越金	59,780,000	59,779,710	59,779,710	100.00	0	0	10,220,227	49,559,483
諸収入	384,803,000	392,624,473	385,152,959	100.09	1,409,092	6,062,422	527,711,584	△142,558,625
計	287,333,124,000	287,340,181,717	287,332,710,203	100.00	1,409,092	6,062,422	279,666,502,315	7,666,207,888

前年度と比較した主な増減については、対象経費となる保険給付費等の増加を見込んだものの、国庫支出金の調整率が前年度と比較して減少したため、国庫支出金が 20 億 3,760 万 1,632 円減額したのに対して、対象経費となる保険給付費等の増加に伴い支払基金交付金が 24 億 1,185 万 9,000 円の増額、国・県・市町村の支出金返還金の増額に伴い後期高齢者医療給付費準備基金繰入金が 58 億 2,795 万 3,447 円の増額となっている。

なお、国・県・市町村の支出金及び支払基金交付金については、実績額に応じて、翌年度に精算を行うこととなっている。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料 円	延滞金 円	基盤安定分 円	計 円
H30	18,977,645,773	3,177,636	5,236,007,843	24,216,831,252
R元	19,906,730,526	3,759,234	5,197,079,244	25,107,569,004
R2	20,640,752,307	3,748,337	5,343,458,705	25,987,959,349
R3	20,905,695,202	5,018,220	5,395,020,020	26,305,733,442
R3-R2増減	264,942,895	1,269,883	51,561,315	317,774,093

保険料等負担金は 263 億 573 万 3,442 円で、前年度に比べ 3 億 1,777 万 4,093 円の増加となっている。保険料率は前年度と同率・同額であるが、均等割額の軽減割合の変更や被保険者数の増加に伴い、現年度分保険料収入が増加したことによるものである。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	年間平均 被保険者数 前年度対比	1人当たり 保険料収入 A	1人当たり 保険料収入 前年度対比
	円	人		円	
H30	18,977,645,773	287,535	5,929	66,001	△ 2,426
R元	19,906,730,526	293,938	6,403	67,724	1,723
R2	20,640,752,307	297,093	3,155	69,476	1,752
R3	20,905,695,202	298,406	1,313	70,058	582

保険料収入は 209 億 569 万 5,202 円で、前年度に比べ 2 億 6,494 万 2,895 円の増加となっている。

年間平均被保険者数は 29 万 8,406 人で、前年度に比べ 1,313 人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は 7 万 58 円で、前年度に比べ 582 円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、12、13ページの表のとおり市町村における調定額210億3,673万円に対し、収納額は209億466万2,003円となっている。収納率については、現年分が99.66%で、前年度に比べ0.03ポイント上昇し、滞納繰越分が39.81%で、前年度に比べ3.26ポイント下降し、合計では99.23%で、前年度に比べ0.09ポイント上昇している。不納欠損額については2,345万264円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

保険料の収納率向上は、財政の一層の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等における収入未済額が606万2,422円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 令和3年度 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
岡山市	現年分	7,706,303,000	7,688,991,726	11,066,044	28,377,318	99.63	21,200
	滞納繰越分	70,265,672	25,755,829	185,139	44,694,982	36.39	11,858,895
	合計	7,776,568,672	7,714,747,555	11,251,183	73,072,300	99.06	11,880,095
倉敷市	現年分	5,102,293,900	5,089,430,448	3,610,200	16,473,652	99.67	0
	滞納繰越分	32,743,028	16,103,340	0	16,639,688	49.18	5,170,679
	合計	5,135,036,928	5,105,533,788	3,610,200	33,113,340	99.35	5,170,679
津山市	現年分	977,640,600	976,253,897	877,640	2,264,343	99.76	0
	滞納繰越分	7,067,251	3,010,811	0	4,056,440	42.60	481,340
	合計	984,707,851	979,264,708	877,640	6,320,783	99.35	481,340
玉野市	現年分	809,216,300	808,957,223	1,058,600	1,317,677	99.83	0
	滞納繰越分	4,312,129	2,283,372	0	2,028,757	52.95	176,800
	合計	813,528,429	811,240,595	1,058,600	3,346,434	99.58	176,800
笠岡市	現年分	558,550,600	558,391,300	1,484,700	1,644,000	99.70	0
	滞納繰越分	2,621,926	1,607,876	2,500	1,016,550	61.22	230,350
	合計	561,172,526	559,999,176	1,487,200	2,660,550	99.52	230,350
井原市	現年分	463,260,100	461,694,800	93,200	1,658,500	99.64	0
	滞納繰越分	3,117,024	710,874	3,300	2,409,450	22.70	916,800
	合計	466,377,124	462,405,674	96,500	4,067,950	99.12	916,800
総社市	現年分	714,922,500	713,452,000	2,193,400	3,663,900	99.48	0
	滞納繰越分	7,515,350	1,722,900	0	5,792,450	22.92	1,556,100
	合計	722,437,850	715,174,900	2,193,400	9,456,350	98.69	1,556,100
高梁市	現年分	359,310,100	360,461,600	2,173,600	1,022,100	99.71	0
	滞納繰越分	3,625,400	906,100	0	2,719,300	24.99	942,000
	合計	362,935,500	361,367,700	2,173,600	3,741,400	98.96	942,000
新見市	現年分	351,219,400	352,518,500	2,125,100	826,000	99.76	0
	滞納繰越分	2,716,100	1,142,887	0	1,573,213	42.07	656,200
	合計	353,935,500	353,661,387	2,125,100	2,399,213	99.32	656,200
備前市	現年分	422,428,000	421,343,130	1,189,400	2,274,270	99.46	0
	滞納繰越分	2,168,600	984,670	0	1,183,930	45.40	128,900
	合計	424,596,600	422,327,800	1,189,400	3,458,200	99.18	128,900
瀬戸内市	現年分	435,806,800	433,719,000	345,300	2,433,100	99.44	0
	滞納繰越分	2,836,274	894,282	0	1,941,992	31.53	267,600
	合計	438,643,074	434,613,282	345,300	4,375,092	99.00	267,600
赤磐市	現年分	526,171,300	526,260,800	920,400	830,900	99.84	0
	滞納繰越分	2,364,033	948,255	0	1,415,778	40.11	0
	合計	528,535,333	527,209,055	920,400	2,246,678	99.57	0
真庭市	現年分	472,728,500	472,373,400	263,700	618,800	99.86	0
	滞納繰越分	828,830	337,309	0	491,521	40.69	135,600
	合計	473,557,330	472,710,709	263,700	1,110,321	99.76	135,600
美作市	現年分	289,148,000	288,241,100	411,400	1,318,300	99.54	0
	滞納繰越分	3,327,900	1,003,654	0	2,324,246	30.15	376,400
	合計	292,475,900	289,244,754	411,400	3,642,546	98.75	376,400
浅口市	現年分	449,663,100	448,416,156	469,000	1,715,944	99.61	0
	滞納繰越分	2,281,420	1,049,114	0	1,232,306	45.98	3,600
	合計	451,944,520	449,465,270	469,000	2,948,250	99.34	3,600

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
和気町	現年分	174,687,400	174,511,200	304,200	480,400	99.72	0
	滞納繰越分	578,200	171,000	0	407,200	29.57	277,800
	合計	175,265,600	174,682,200	304,200	887,600	99.49	277,800
早島町	現年分	157,299,800	156,474,200	72,800	898,400	99.42	0
	滞納繰越分	901,459	291,206	0	610,253	32.30	66,500
	合計	158,201,259	156,765,406	72,800	1,508,653	99.04	66,500
里庄町	現年分	130,478,800	130,382,900	131,600	227,500	99.82	0
	滞納繰越分	675,700	675,200	0	500	99.92	500
	合計	131,154,500	131,058,100	131,600	228,000	99.82	500
矢掛町	現年分	173,208,700	172,621,500	77,600	664,800	99.61	0
	滞納繰越分	389,100	290,200	0	98,900	74.58	37,000
	合計	173,597,800	172,911,700	77,600	763,700	99.56	37,000
新庄村	現年分	8,433,100	8,418,600	8,600	23,100	99.72	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合計	8,433,100	8,418,600	8,600	23,100	99.72	0
鏡野町	現年分	118,968,600	118,759,200	80,500	289,900	99.75	0
	滞納繰越分	214,000	120,900	16,900	110,000	48.59	80,400
	合計	119,182,600	118,880,100	97,400	399,900	99.66	80,400
勝央町	現年分	95,184,300	95,206,300	111,200	89,200	99.90	0
	滞納繰越分	411,800	37,300	0	374,500	9.05	7,200
	合計	95,596,100	95,243,600	111,200	463,700	99.51	7,200
奈義町	現年分	59,566,300	59,552,300	9,100	23,100	99.96	0
	滞納繰越分	58,300	54,300	0	4,000	93.13	0
	合計	59,624,600	59,606,600	9,100	27,100	99.95	0
西粟倉村	現年分	11,803,800	11,803,800	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合計	11,803,800	11,803,800	0	0	100.00	0
久米南町	現年分	60,546,300	60,449,900	44,400	140,800	99.76	0
	滞納繰越分	139,600	70,100	0	69,500	50.21	0
	合計	60,685,900	60,520,000	44,400	210,300	99.65	0
美咲町	現年分	147,104,100	146,774,300	150,300	480,100	99.67	0
	滞納繰越分	491,844	442,640	0	49,204	89.99	1,600
	合計	147,595,944	147,216,940	150,300	529,304	99.64	1,600
吉備中央町	現年分	108,648,100	108,415,300	43,000	275,800	99.74	0
	滞納繰越分	486,800	173,304	0	313,496	35.60	56,800
	合計	109,134,900	108,588,604	43,000	589,296	99.46	56,800
合計(Ⅰ)	現年分	20,884,591,500	20,843,874,580	29,314,984	70,031,904	99.66	21,200
	滞納繰越分	152,137,740	60,787,423	207,839	91,558,156	39.81	23,429,064
	合計	21,036,729,240	20,904,662,003	29,522,823	161,590,060	99.23	23,450,264

【参考】 令和2年度 合計(Ⅱ)	現年分	20,606,858,900	20,561,589,338	29,788,860	75,058,422	99.63	38,800
	滞納繰越分	181,342,065	78,622,338	517,599	103,237,326	43.07	24,982,902
	合計	20,788,200,965	20,640,211,676	30,306,459	178,295,748	99.14	25,021,702
差引増減 (Ⅰ-Ⅱ)	現年分	277,732,600	282,285,242	△ 473,876	△ 5,026,518	0.03	△ 17,600
	滞納繰越分	△ 29,204,325	△ 17,834,915	△ 309,760	△ 11,679,170	△ 3.26	△ 1,553,838
	合計	248,528,275	264,450,327	△ 783,636	△ 16,705,688	0.09	△ 1,571,438

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分		令和3年度 A	令和2年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		287,333,124,000円	279,664,555,000円	7,668,569,000円
支 出 済 額		287,319,435,501円	279,606,722,605円	7,712,712,896円
執 行 率		100.00%	99.98%	0.01%
翌年度繰越額	継続費通次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		13,688,499円	57,832,395円	△44,143,896円

支出済額は2,873億1,943万5,501円で、前年度に比べ77億1,271万2,896円増加している。

予算現額2,873億3,312万4,000円に対し、100.00%の執行率となっている。

また、不用額は1,368万8,499円で、前年度に比べ4,414万3,896円の減少となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款・項	令和3年度					令和2年度	増、減(△) A-B
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度繰越額 円	不用額 円	支出済額 B 円	
総 務 費	784,104,000	784,089,759	100.00	0	14,241	877,377,760	△ 93,288,001
保 険 給 付 費	267,655,003,000	267,654,998,358	100.00	0	4,642	261,013,529,723	6,641,468,635
特別高額医療費 共同事業拠出金	142,936,000	142,935,739	100.00	0	261	119,572,740	23,362,999
保 健 事 業 費	455,613,000	455,609,954	100.00	0	3,046	327,309,000	128,300,954
基 金 積 立 金	7,645,177,000	7,632,013,393	99.83	0	13,163,607	11,937,536,103	△ 4,305,522,710
諸 支 出 金	10,649,791,000	10,649,788,298	100.00	0	2,702	5,331,397,279	5,318,391,019
うち被保険者還付金	26,438,000	26,437,200	100.00	0	800	33,514,728	△7,077,528
うち国庫負担金等償還金	10,623,266,000	10,623,265,098	100.00	0	902	5,297,728,651	5,325,536,447
予 備 費	500,000	0	0.00	0	500,000	0	0
計	287,333,124,000	287,319,435,501	100.00	0	13,688,499	279,606,722,605	7,712,712,896

支出総額は2,873億1,943万5,501円で、この主なものは保険給付費、翌年度における精算のための基金積立金、前年度精算のための償還金である。

支出総額の内、増加の主な要因については、保険給付費が昨年度の新型コロナウイルス感染症の影響による減少から回復傾向にあり、66億4,146万8,635円増加し、前年度精算のための国庫負担金等償還金が53億2,553万6,447円増加したものである。支出総額の内、減少の主な要因については、基金積立金が主に翌年度における精算のため43億552万2,710円減少したものである。

不用額の主なものは、基金積立金などである。

保健事業については、被保険者の健康保持増進のため策定したデータヘルス計画を基本とし、その目標達成のため市町村との協力・連携を深め、より効果的かつ効率的な事業の実施を図られたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A 円	前年度比 %	年間平均 被保険者数 B 人	療養諸費 件数 C 件	一人当たりの療養諸費	
					$\frac{A}{B}$ 円	$\frac{C}{B}$ 件
H30	247,794,962,996	102.07	287,535	8,381,875	861,791	29.15
R元	256,441,996,023	103.49	293,938	8,612,444	872,436	29.30
R2	248,301,953,577	96.83	297,093	8,272,863	835,772	27.85
R3	254,385,386,042	102.45	298,406	8,420,626	852,481	28.22

注)「療養諸費額」は、入院時療養費や療養費を含む「療養給付費」、「訪問看護療養費」及び「移送費」の合計額。  
(※「審査支払手数料」除く)

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A 円	前年度比 %	年間平均 被保険者数 B 人	高額療養 諸費件数 C 件	一人当たりの 高額療養諸費	
					$\frac{A}{B}$ 円	$\frac{C}{B}$ 件
H30	10,568,427,962	98.13	287,535	524,245	36,755	36,755
R元	11,265,833,987	106.60	293,938	538,916	38,327	38,327
R2	11,279,688,434	100.12	297,093	528,573	37,967	37,967
R3	11,805,161,593	104.66	298,406	539,575	39,561	39,561

高額療養諸費額が前年度比104.66%となった主な要因は、被保険者の増加によるものである。

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減 %
	人	人	%	
H30	264,982	37,563	14.18	0.16
R元	271,287	39,498	14.56	0.38
R2	277,061	36,942	13.33	△ 1.23
R3	277,374	36,688	13.23	△ 0.10

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保険者) 人	対象者数 人	集団健診			個別健診			受診者数 合計 人	受診率 %
			課税 人	非課税 人	小計 人	課税 人	非課税 人	小計 人		
1 岡山市	94,453	92,716	4	2	6	10,430	1,095	11,525	11,531	12.44
2 倉敷市	67,355	66,187	2,185	646	2,831	3,434	1,956	5,390	8,221	12.42
3 津山市	16,152	14,701	116	60	176	1,524	927	2,451	2,627	17.87
4 玉野市	11,746	11,494	12	1	13	985	129	1,114	1,127	9.81
5 笠岡市	9,451	9,235	484	228	712	273	151	424	1,136	12.3
6 井原市	8,248	8,248	65	101	166	306	758	1,064	1,230	14.91
7 総社市	9,838	8,597	315	0	315	301	0	301	616	7.17
8 高梁市	6,911	6,162	57	28	85	47	24	71	156	2.53
9 新見市	6,827	5,980	455	255	710	110	76	186	896	14.98
10 備前市	7,147	6,654	17	8	25	986	566	1,552	1,577	23.70
11 瀬戸内市	6,539	6,063	136	53	189	329	135	464	653	10.77
12 赤磐市	7,401	7,269	0	0	0	270	116	386	386	5.31
13 真庭市	9,467	8,807	143	58	201	1,247	636	1,883	2,084	23.66
14 美作市	6,051	5,407	0	0	0	459	338	797	797	14.74
15 浅口市	6,911	493	67	15	82	58	12	70	152	30.83
16 和気町	2,981	1,647	0	0	0	145	263	408	408	24.77
17 早島町	1,834	1,790	188	37	225	34	12	46	271	15.14
18 里庄町	1,871	1,715	308	96	404	0	0	0	404	23.56
19 矢掛町	2,977	2,603	307	103	410	28	8	36	446	17.13
20 新庄村	241	241	20	11	31	4	1	5	36	14.94
21 鏡野町	2,547	2,321	138	85	223	145	138	283	506	21.80
22 勝央町	1,786	1,548	34	68	102	74	133	207	309	19.96
23 奈義町	1,082	1,076	147	60	207	4	4	8	215	19.98
24 西粟倉村	278	242	22	20	42	1	2	3	45	18.60
25 久米南町	1,224	1,200	47	90	137	0	0	0	137	11.42
26 美咲町	3,110	2,560	413	236	649	0	0	0	649	25.35
27 吉備中央町	2,467	2,418	6	33	39	4	30	34	73	3.02
合計(I)	296,895	277,374	5,686	2,294	7,980	21,198	7,510	28,708	36,688	13.23
R2年度実績(II)	296,559	277,061	5,107	2,076	7,183	21,991	7,768	29,759	36,942	13.33
増減(I-II)	336	313	579	218	797	-793	-258	-1,051	-254	-0.1

#### 4 財産に関する調書

令和3年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は、前年度末より、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が320万7,617円の増加、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金は23億7,405万3,835円減少している。減少した主な要因は、令和2年度末までに返還すべき令和元年度分国・県支出金等の返還金37億3,979万円余を出納整理期間中に返還することとなったため、その財源として基金の取崩しを行ったことによるものである。

基金名	令和2年度末 現在高	令和3年度中 増減	令和3年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	10,764,432	3,207,617	13,972,049
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	9,581,410,262	△2,374,053,835	7,207,356,427
計	9,592,174,694	△2,370,846,218	7,221,328,476

## 5 むすび

令和3年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

### ○ 決算規模・実質収支について

決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入 2,874 億 1,023 万円、歳出 2,873 億 9,343 万円となり、前年度に比べ歳入は 76 億 7,150 万円、歳出は 77 億 1,769 万円それぞれ増加している。

また、本年度の決算収支をみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で 352 万円の黒字、特別会計で 1,327 万円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。

### ○ 歳入の状況について

予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で 100.00%、特別会計で 100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で 100.00%、特別会計で 100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が約 600 万円生じているので、その解消に努められたい。

さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて 99.23%で前年度比 0.09%上昇しており、1 億 6,159 万円の収入未済額が生じている。保険料の収納額は前年度に比べ 2 億 6,445 万円増加しており、収入未済額は前年度に比べ 1,670 万円減少している。財政の一層の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組むことが重要である。

### ○ 歳出の状況について

予算現額に対する歳出決算額の割合は、一般会計で 95.46%、特別会計で 100.00%となっており、一般会計で 352 万円、特別会計で 1,369 万円の不用額が生じている。

特別会計の歳出決算においては、主たるものが保険給付費であり、この保険給付費は前年度と比較して 66 億 4,147 万円増加している。保険給付費増加の主な要因としては、昨年度の新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していたものが回復傾向にあるものである。今後も高齢化の進展に伴う被保険者数の増加に伴い医療給付費の増加が見込まれるため、医療費の適正化に継続して努める必要がある。

### ○ 今後の運営について

平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され13年が経過したが、制度開始時の被保険者数約23万7千人から、令和3年度末では約30万3千人と約7万人も増加している。さらに、「団塊の世代」が全て75歳以上となる令和7年度に向け、被保険者数の増加が見込まれ、被保険者数の増加に伴う医療給付費の増嵩により、厳しい事業運営を強いられることが懸念される。

また、令和4年10月1日から、医療費窓口負担割合について、一定の収入がある被保

険者の窓口負担が2割となる制度が導入される。被保険者に対し混乱や不安を招かぬよう、広域連合として、市町村等の関係機関と連携を密にし、十分な周知、広報及び丁寧な説明に努められたい。

高齢者の健康寿命の延伸を図るため、令和2年度から実施している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じつつ、効果的な高齢者保健事業に向け、広域連合においても、市町村や関係医療機関等と連携を一層密にしながら取り組まれたい。

今後とも、国の動向や社会情勢を的確に把握した予算編成を行い、計画的な資金収支に留意して確実かつ効果的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう鋭意努力されたい。